

RFワールド

RADIO FREQUENCY

特集案内 RFワールドNo. 47 (2019年7月29日発売)

「次世代無線の新技术展望」

■企画趣旨

日本は無線の技術で第一線にあり、世界をリードしてきました。通信、放送、測位測距などに加えて、さまざまな分野で電波利用が進んでいます。

無線通信の世界では2020年の5Gサービス開始に向けた動きが加速しています。しかし5Gでは新しい無線アクセス技術(RAT: Radio Access Technology)の導入が見送られました。無線通信の技術は、もはや行き着くところまで研究開発されつくした感があります。いわば磨き込んだダイヤをさらにブラッシュアップしているのです。では、もう無線技術に新たな進歩はないのでしょうか？

いいえ、5Gの先にある6Gでの実用化を目指した技術開発が始まりました。6Gではテラヘルツ帯の利用が始まるとみられています。またOAM(軌道角運動量変調)によって、さらなる高速化が図られ、その通信速度は100Gbpsに達します。

一方、無線測位の世界では、2018年に準天頂衛星「みちびき」の4機体制が揃い、最終的に2024年の7機体制まで拡充され、あらたなる社会“Society 5.0”の構築を支えるインフラになろうとしています。

そこで特集では、次世代無線の技術として、6Gや準天頂衛星測位を紹介する予定です。この機会に広告掲載のご検討をいただけますよう、謹んでお願い申し上げます。

■章立て案

- ・CMOSアナログRFによる300GHz帯トランシーバーICの試作
- ・化合物半導体による300GHz帯トランシーバーICの試作
- ・超高速無線を可能にするOAMの技術
- ・本格運用が始まった準天頂衛星による測位サービス など

■広告掲載料金(定価)&スケジュール

4色1ページ	2色1ページ	白黒1ページ
360,000円	240,000円	180,000円

申込締切	入稿締切	発行日
6月19日	6月25日	7月29日

■広告のお問い合わせ先

CQ出版社 企画部 中元(なかもと)
TEL. 03-5395-2131 E-mail. nakamoto@cqpub.co.jp